

		<p>・ピーナッツがアレルギー物質だと初めて知った。 ・みんなと同じものをほしがるとき、どうしたらよいのだろう。</p> <p><ワーク2> 「あなたがまことちゃんのお母さんだったら、まことちゃんにどう言ってあげますか？メモをして、グループのみなさんと交流しましょう。」</p> <p>・みんなと同じお菓子が食べたいけれど、まことちゃんの体がかゆくなったり、苦しくなったりしたらたいへん。 ・お母さんと一緒に我慢しようね。</p> <p>「子どもたちの安全を守るために、私たちが食物アレルギーについて、資料編にあるような内容を正しく学ぶことが大切です。」</p>	<p>◇自由に家庭の様子を話せるように、進行役の方の困っていることや悩んでいることを話すとよいでしょう。</p> <p>◇グループごとに交流する際、「自分にもできそう。」「よい方法だなあ。」などと思った意見は、ワークシートの「いいね！」の欄にメモを取るとよいことを、事前に伝えておきましょう。</p> <p>◇出された意見をまとめたり、結論を出したりする必要はありません。自分自身、こんなヒントをもらったというように、同じ立場で話すとよいでしょう。</p>
<p>00:10</p>	<p>ふりかえり</p> <p>おわりのことば</p>	<p>「私の子どももアレルギーがあって、食事制限をしなければいけません。喘息症状があるので、本人も食べてはいけないものと承知していますが、そこまでが大変でした。病院に定期的に通い、少しずつ食べられる食物が増えてきました。園と情報共有してきちんと周りの子に説明してもらえ、楽しく過ごしています。こういう機会アレルギーについての理解が深まっていいですね。」</p> <p>「みなさん、今日参加されていかがでしたか。今回は食物アレルギーについての勉強会でした。食物アレルギーの子どもは年々増えているというデータもあります。園でも家庭でも、安全に楽しい食生活を送るためのヒントを得ていただけたならうれしいです。これからも、お困りのことがあれば、一人で悩まずにこのような機会を活用し、情報交換をしていきましょう。」</p>	<p>◇資料のページをもとに話すのもよいでしょう。食物アレルギーの原因食品を知ったり、エピペン®について理解したりすることも大切です。資料を印刷して配布するのもよいですね。</p> <p>◇最後は、参加者の日頃のがんばりを認めることのみとし、指示やアドバイスをすることは避けましょう。</p>

